

大島区の あさひ荘 指定管理者が 撤退・休館へ

あさひ荘は、前指定管理者が一昨年経営破綻したこと、昨年7月、別の業者によって運営が再開されました。ところがこのほど、この業者から、「経営不振により、撤退したい」という申し出があり、この年末限りで休館することになりました。

この件は、10日の文教経済常任委員会に報告され、「業者の経営努力が不足していた」「地元住民の思いと業者の方針とかみ合わなかった」というような説明がされました。

しかし、この業者を指定した責任や、地元住民と業者をつなぐべき行政の責任にも、大きなものがあるのではないのでしょうか。

67.6%が「いったん白紙に」

(仮称)厚生産業会館 市民アンケート

市民から2400を超える回答

たくさんのご協力

ありがとうございます

市は、高田公園プール跡地などに(仮称)厚生産業会館を建設する計画を進めています。この施設は、一昨年の秋に「基本構想は不適当」という高田区地域協議会の答申が出されるなど、建設そのものや建設場所、内容、規模の各点で市民から多くの疑問が出されています。

そこで、日本共産党議員団は、「計画の前に市民の意見をきちんと聞くべきだ」と主張し、意見集約の取り組みを行うことを求めました。

ところが、市は市民全体の意見を把握するどころか、当初の規模と比べ10億円近くも費用が増大する基本設計案を発表しました。9月議会では、市長は市民意見をあらためて聴くことを拒み、逆に「使わない人の意見をどうやって聴くのか」と質問する有様です。

そこで、日本共産党議員団は、先月、支援者の力を借りながら、市民アンケートの取り組みを行いました。アンケートは、2413通の回答を寄せていただきました。

8日に公開で行ったアンケートの結果は、「いったん白紙に戻すべき」という回答が全体の約3分の2を占め、昨年の市によるパブリックコメントとは全く逆となりました。

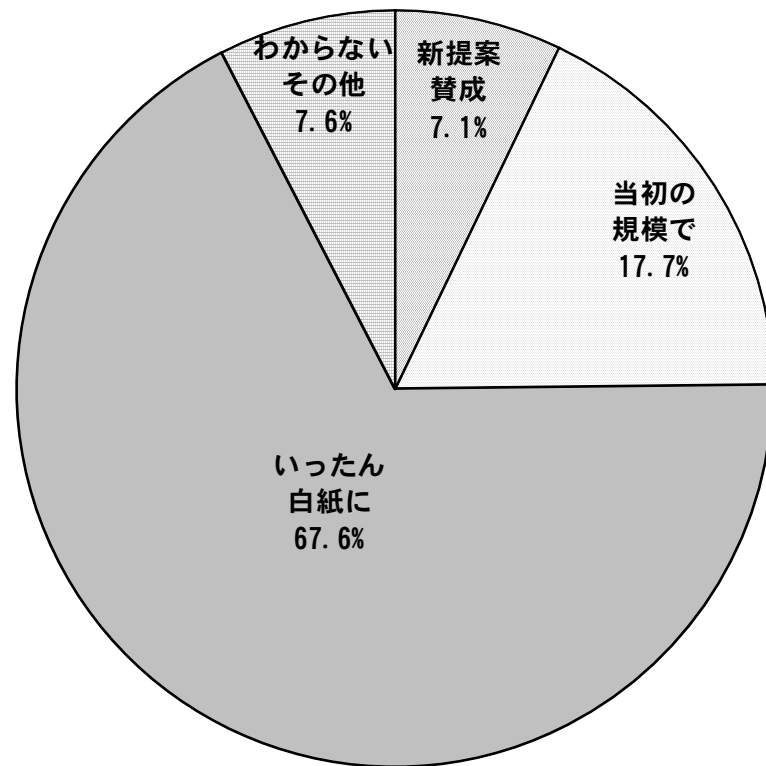
このアンケートは、配布した数が6万枚(市内7万3千世帯のうち、6万世帯に配布)に対して、返送されたのが約2400ということですので、すべての市民の意見を網羅したとは言えません。しかし、この問題に関心があり、回答を封筒に入れて投函してくれた多くの人の意見が、このような結果であるということ、は事実です。また、回答数が数十、数百というのなら、方から回答をいただきましたので、一定の市民の意見が表出されていることは確かです。

同時に寄せられたたくさんの方の意見を集約・分析中ですので、この結果から、「ただちに白紙に戻すべきだ」と即断はできません。しかし、パブリックコメントとは逆の結果になったことから見ても、行政として市民意見をしっかりと聴く取り組みをすることが必要であり、このことはただちにすべきです。

なお、アンケート用紙には多くの方からコメント、ご意見をいただきました。それぞれの貴重なご意見を文字化して、みなさんに明らかにするとともに、確実に生かしていきたいと考えています。

(仮称)厚生産業会館市民アンケート

項目	数	割合
新提案賛成	172	7.1%
当初の規模で	427	17.7%
いったん白紙に	1631	67.6%
わからないその他	183	7.6%
合計	2413	



“豆腐の上の原発”を学ぶつどい

12月7日(日)午後2:00~4:00

柿崎地区公民館

上越市柿崎区柿崎6406番地(柿崎区総合事務所に隣接)

ブックレット「規制委員会がふりまくニセの[新・安全神話]で”豆腐の上の原発”を動かしてはならない」の著者、立石雅昭新大名誉教授をお招きして、柏崎刈羽原発の危険性や、再稼働への動きについて学ぶ機会を計画しました。

川内原発の次は柏崎刈羽原発の再稼働が狙われているという情報もあります。ぜひご参加ください。

主催：日本共産党議員団

日本共産党上越市議員団ニュース

No.435 2014年11月16日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)